

武蔵野市第3期健康福祉総合計画拡大調整委員会議事要旨

日時	平成29年11月6日(月)午後6時30分から8時30分
場所	武蔵野市役所811会議室
出席委員 (敬称略)	市川一宏、岩本操、狩野信夫、北島勉、酒井陽子、栖雲勅子、田原順雄、堀口裕恒、村雲祐一、矢島和美、山井理恵、渡邊大輔(以上、第3期健康福祉総合計画・地域福祉計画策定委員)、荒井義勝、竹添睦子(以上、高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画策定委員)、高澤勝美、荒武慎一、植村由紀彦(以上、障害者計画・第5期障害福祉計画策定委員)、川南公代、原純也、守矢利雄(以上、第4期健康推進計画・食育推進計画策定委員)
事務局	健康福祉部長、地域支援課長、生活福祉課長、高齢者支援課長、相談支援担当課長、障害者福祉課長、健康課長 他

1 開会(略)

2 配付資料の確認(略)

3 議事

(1) 第3期健康福祉総合計画・各個別計画について

【委員長】 今回の委員会開催の主旨について事務局から説明願いたい。

【事務局】 本委員会の主旨は2点ある。

1点目は、各個別計画について中間のまとめ(案)が作成されたが、横断的に取り組むべき事項、あるいは関連する計画同士で連携をより進めるべき事項、さらには制度の狭間や谷間にある課題についてどのように総合計画へ盛り込めばよいか、委員の皆様からご意見をいただきたい。

2点目は、各計画の中間のまとめに対する市民との意見交換会を12月に開催する。そのため、開催に向けた情報の共有や確認をさせていただきたい。

以下の資料により事務局が説明

- ・武蔵野市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画 中間のまとめ(案) 概要版
- ・武蔵野市障害者計画・第5期障害福祉計画 中間のまとめ(案) 概要版
- ・武蔵野市第4期健康推進計画・食育推進計画 中間のまとめ(案) 概要版
- ・武蔵野市第5期地域福祉計画 中間のまとめ(案) 概要版
- ・武蔵野市第3期健康福祉総合計画 中間のまとめ(案) 概要版

(2) 第3期健康福祉総合計画について

以下の資料により事務局が説明

- ・資料1 相談支援ネットワークの連携強化イメージ図
- ・資料2 武蔵野市における健康福祉分野の協議会・会議体について

- ・資料4 「再犯防止推進計画」策定スケジュール（イメージ）
- ・参考資料 （仮称）介護老人保健施設 サンセール武蔵野 整備・運営事業計画について

- 【委員】 健康推進計画の基本施策に、予防を重視した健康診査等の推進があり、各種検診、特定検診、がん検診、若年層検診などの検診受診率が課題となっている。これらの検診について、健康分野以外と情報の提供・周知の連携を分野横断的に行うことによって課題解決に役立つのではないかと。
- 【委員長】 今後の検討事項とする。
- 【委員】 武蔵野市赤十字奉仕団（以下「赤十字奉仕団」という。）は、平成31年に創設70周年を迎える。現在、共同募金事業における戸別訪問を一手に担っているが、団員の高齢化等で負担が増している。一人でも多くの市民や地域の団体に共同募金事業へ協力していただくために、地域福祉計画に事業のあり方の検討について記載していただきたい。
- 【事務局】 武蔵野市は全市的な町内会や自治会がない。共同募金事業における戸別訪問は赤十字奉仕団と民生児童委員協議会のみで行われているのが現状である。武蔵野市における共同募金事業での募金額の実に9割以上が戸別訪問によるものである。しかし、この募金の還元が赤十字奉仕団にはほとんど向けられず、他の地域団体や施設に向けて行われている実態がある。このため、全市的な互助・共助として共同募金事業を行うのであれば、赤十字奉仕団や民生児童委員協議会だけでなく、より幅広い募金活動の仕組みをつくってほしいという意見が赤十字奉仕団から出ている。このことについては、共同募金事業のあり方を検討していく必要があると考えている。
- 【委員長】 共同募金事業は共助の根幹である。地域福祉計画での記載を検討していただきたい。
- 【委員】 私は武蔵野市で保護司をしているが、地域福祉計画の個別施策12に記載されている「地方再犯防止推進計画」は、現在国で再犯防止推進計画の策定をしている段階である。国の計画が決まらないうちに、一自治体の計画に記載することはタイミングとしてどうなのかよく検討していただきたい。
- 【委員】 私も、地方再犯防止推進計画策定の検討については、計画策定を担うのが福祉分野であることが気になっている。罪を犯した人達が地域で生活できるための基盤をつくることについては福祉的な観点も必要だと思うが、窓口をどの部署に置くのかが非常に重要になると思う。武蔵野市の理念に基づき、慎重に考えていく必要があると思う。
- 【事務局】 資料4の3頁に、「出所後2年以内に再び刑務所に入所する者等の割合を今後10年間で20%以上減少」という国の数値目標が記載されている。これに対応して各自治体で計画を策定するのであれば、各自治体が刑務所からの出所者を把握する必要が出てくる。このことが法制度上可能なのかという率直な疑問もある。今後、国の動向を見る必要があるが、現段階で第5期地域福祉計画の個別施策として盛り込むべきか委員の皆様にはご意見をいただきたい。
- 【委員】 再犯防止推進計画策定の上で特に問題となっているのは覚せい剤などの薬物依存であり、再犯率が最も高い。また、高齢者や障害者の再犯率もそれなりに高いのが現状である。しかし、これらの方々を自治体でケアすることはかなり難しいのではないかと。また、国が策

定している段階において、自治体が計画の策定を検討するのはかなり困難と思われる。今回の計画では記載を見送るべきと考える。

【副委員長】資料2について、協議体・会議体は増え続けるという問題がある。不要なものは統廃合し、必要なものは増やすことが重要である。このような協議体・会議体は設置するのは容易だが、廃止することは難しいという問題もある。統一性を重視しながら包括的に行うことが、将来的に有益になると思う。

【事務局】 会議体・協議会については、効率性を重視しながら廃止できるものは廃止し、統合できるものは統合する方向で進めていきたい。

【副委員長】自殺対策に関してはどの計画で触れるべきか悩ましいところがある。自殺対策は広範囲に及ぶ課題なので、できれば健康福祉総合計画でも記載したほうがよいと思う。

【事務局】 自殺対策は健康福祉総合計画の中に位置付けるべきものと考えている。

【委員】 武蔵野市のホームページトップにクックパッドを表示している目的や効果を教えていただきたい。

【事務局】 市ホームページにおけるクックパッドの表示については、少しでも公的な場から正しい情報を提供することを目的として始めた事業である。本市の場合、学校給食の食材などにもこだわりを持っているため、そのような主旨も含めてトップページからご覧いただけるようにしている。

【委員】 食育推進計画中間のまとめ（案）について、ライフステージに合わせたアプローチが記載されており、高齢者や成長期の子どもの食事のことが触れられているが、障害者についての食事について議論が出たのか伺いたい。

【事務局】 食育推進計画策定委員会において、障害者の食に関する議論はされていない。壮年期・更年期において摂食に関する障害が出てきた人に対するケアについては記載があるが、障害者の方、体力強化が必要な方も含めての記載を検討していきたい。

【事務局】 障害者計画の策定委員会において、食育の議論はなかったと記憶している。

【委員】 武蔵野市地域防災計画には災害時医療を推進することが書かれている。この主管課は防災課でよいのか。

【事務局】 地域防災計画の主管は防災安全部防災課である。

【委員】 担当が地域支援課と記載されているのはなぜか。

【事務局】 地域防災計画の中に記載されている各項目の担当を記載している。例えば災害時要援護者関連は地域支援課が所管であり、災害時医療関連であれば健康課が所管となる。地域防災計画全般を統括するのが防災課である。

【委員】 武蔵野市第3期健康福祉総合計画中間のまとめ（案）概要版の3頁に記載されている地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）について伺いたい。一口に人材と言っても、武蔵野市認定ヘルパーやシニア支え合いポイント制度など地域のボランティアから専門職まで多岐に渡る。例えば高齢者介護の人材が障害者福祉へ、あるいは障害者福祉分野の人材が高齢者介護に行くというように違った領域に転職するというような視点やフォローアップは検討しているのか。

【事務局】 先日、人材育成を先進的に行っている自治体を視察した。地域包括ケア推進人材育成セ

ンター（仮称）については、高齢者介護や障害者福祉の人材育成を想定しているが、いただいた意見は今後の検討項目とさせていただきたい。

【委員長】 人材育成には介護だけでなく、ソーシャルワークの分野もぜひ検討事項に含めていただきたい。

【委員】 武蔵野市第3期健康福祉総合計画において、様々なところで「食」というキーワードが出てくる割には「食に対する市民への意識向上の取組み」の一言だけで片付けられている。栄養と食を専門としている立場から見て内容が薄いと感じた。啓発活動として意識を高めるだけでなく、食に関して問題のある方々をどのようにフォローアップしていくのかについて記載していただきたい。また、地域包括ケアでは配食サービスの記載があるが、高齢者福祉計画においても食についての記載がもっと必要であると感じた。

【委員長】 食の記載については事務局で再度よく検討していただきたい。

事務局は本日出た意見を踏まえて各計画の中間まとめ（案）を修正し、それぞれの委員長及び副委員長の最終確認を経て正式な中間のまとめとして公表してもらいたい。

（3）パブリックコメント・市民意見交換会について

資料3「武蔵野市第3期健康福祉総合計画中間のまとめ 市民意見交換会について（案）」により事務局が説明

（4）その他

【委員長】 今回の拡大調整委員会においても、今までの策定委員会と同様に議事録の取り扱いは公開という理解でよいか。

【事務局】 市ホームページ及び市政資料コーナーにおいて公開させていただきたい。

4 閉会